

アレセンサカプセルについて

□ アレセンサカプセル (ALECENSA capsule)

商品名：アレセンサカプセル 150mg

成分名：アレクチニブ 塩酸塩 (Alectinib Hydrochloride)



□ アレセンサの内服開始にあたって

アレセンサは、がん細胞を減らしたり、増殖を抑えたりする薬（抗がん剤）です。

今後服用を継続していく上で、この薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。

薬のことをよく理解し、上手に付き合ってください。

何か異常を感じた際は我慢したり、ご自分の判断で中止したりせず、医師・薬剤師に必ずご相談ください。

□ がん細胞に対するアレセンサのはたらき

非小細胞肺がんの一部の患者さんにおいては、がん細胞から『ALK（アルク）融合遺伝子』をもつタンパク質が検出されています。ALK 融合遺伝子を持つタンパク質はがん細胞の表面にあり、がん細胞を増やすための信号を細胞の内部に送る役割を担っています。

アレセンサは、その信号の伝達を阻止することで、がん細胞の増殖を抑えるはたらきを持っています。

□ 服用上の注意

- ・1日2回、決められた量をコップ一杯の水またはぬるま湯と一緒に服用してください（医師の指示通り）。
- ・飲み忘れた場合、決して2回分を一度に飲まないでください。
- ・健康食品として売られているセント・ジョーンズ・ワート（セイヨウオトギリソウ）含有食品と一緒に飲むと、お薬の効果が弱くなる可能性があります。
- ・グレープフルーツジュースを飲むと、お薬による副作用が出やすくなる可能性があります。

□ 副作用とその対策

副作用は恐れるのではなく、理解を深めて、うまくコントロールすることが一番大切です！

頻度は高くないが、特に注意が必要なもの

【 間質性肺炎 】 咳がでる、息切れがする

かぜのような症状（息切れ、呼吸がしにくい、咳、発熱）が現れたときには急性肺障害、間質性肺炎の可能性があり、生命に関わる副作用なので、異常を感じたら放置せず、速やかに連絡・受診をしてください。

比較的に出やすいもの

【 発疹 】 湿疹ができる、蕁麻疹のような赤いぼつぼつができる

薬の内服を開始したら発疹を予防するため、保湿クリーム等を塗り皮膚の乾燥を防いでいきます。保湿クリームは市販のものでも構いません。

洗剤で手が荒れないよう、血洗いをする時などは手袋を装着しましょう。

足に負担がかからないよう、窮屈な靴をはかないようにする等の対応も必要です。

【 下痢 】

下痢の症状が続く場合は、水分を多めにとって脱水を防ぎましょう。

症状によっては下痢止めを内服する場合があります。

【 肝機能障害 】

薬を内服していくうちに肝臓の機能に異常がみられることがあります。

しかし、肝機能異常が症状として表れるのはかなり状態が悪化してからです（白目や皮膚が黄色くなるなど）。

異常の早期発見をするため、採血を行い肝機能をチェックしていきます。

その他

- ・腎機能障害（血中クレアチニン増加）、味覚障害 など

□ 保管上の注意

- ・直射日光を避け室温で保管してください。
- ・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。他の人が誤って飲むことがないように注意してください。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111（代表）

